

令和4年度 東京都立若葉総合高等学校 学校経営計画

校長 鈴木 光俊

I 教育目標

「自立の心と個性を伸ばす」

※「自立」とは周囲と様々な関係性を保ちながら自分らしく生きること

II 目指す学校

1 スクール・ミッション

自立の心と個性を伸ばすことを教育目標とし、自己理解の深化及び職業観・勤労観の確立を図りながら、キャリア教育の視点を重視した教育活動を行います。また、「気づく力」「選ぶ力」「挑戦する姿勢」「やり抜く力」などを育てる教育活動を通じて、自己実現や社会貢献に向けて主体的にキャリアを切り開いていく、自立した社会人となる人材を育成します。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

東京都立若葉総合高等学校は、「自立の心と個性を伸ばす」ことが教育目標であり、本校の生徒が卒業する時には以下に示す能力を備えていることを求めます。所定の年限を在学し、本校の教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を履修した生徒に卒業を認定します。

(育成すべき能力)

- ① 物事を多面的・多角的に観ることにより、学習課題を発見する能力
- ② 学んだことを整理して、次に必要な学びを選択する能力
- ③ 設定した目標に向かい、主体的に学ぶ能力
- ④ 失敗や挫折を受け入れ、前向きに取り組む能力、また他者の意見を取り入れながら取り組む能力

(2) カリキュラム・ポリシー

本校のグラデュエーション・ポリシーを踏まえ、生徒が主体的に学ぶことができるよう、カリキュラムを次の方針に則り編成、実施します。

① 教育課程編成の基本方針

- 1) 総合学科の特長を生かし、本校の教育理念を実現することを目的に、普通科目・専門科目・学校設定科目を適切に配置します。

(具体的施策:総合学科にふさわしい教育課程設置上の工夫をあらゆる方面で検討します。1年次の「産業社会と人間」の工夫、自由選択の実施。2・3年次の効果的な系列時間数および系統的科目の設置。また各系列科目・分野における進路学習の充実。多様な進路に対応する自由選択科目の設置。課題研究(総合的な探究の時間)における進路学習等)

- 2) 単位制を原則とするが、生徒指導の継続性と円滑化をはかるため、学年次・ホームルームを設置します。
- 3) 生徒の進路実現を考え、1年次に共通履修科目を配置して基本的な学力を定着させ、2・3年次には選択科目を多く設置します。
- 4) 系列科目(総合選択科目)の設定については、系列設置の目標・想定進路に沿う適切な科目を、継続性を考慮しながら、2・3年次に最も効果的に設置します。
- 5) 系列科目には、生徒の特性や進路希望に対応するため、系列枠を超えた選択幅を設けます。
(具体的施策:理数系選択者のための数学Ⅱ・数学Ⅲ、文系選択者のための日本史B・古典、また自分の分野の科目の余った時間帯の科目)
- 6) 自由選択科目群には、生徒の進路実現に関連の深い科目を置きます。

(具体的施策：国公立大学から専門学校まで幅広い方面の受験に対応する進学用一般科目。3年次に設けられる受験用演習科目。公務員就職者向け科目。)

※自由選択にはそのほかに卒業・進路決定後に役立つ語学・コンピュータ等の実践的科目と調理・被服等の関連科目。心理学・伝統楽器等の視野を広げる教養的科目を置いています。)

- 7) 地域の特色を生かし、地域との連携の上に立った教育活動を広げます。
(具体的施策：環境分野の校外学習・調査等。)
- 8) 学校外の学習の単位認定を活用します。
(具体的施策：各分野に該当する大学との連携。単位認定の具体策の検討。)
- 9) 生徒の習熟度に合った少人数編成の授業を実施します。
(具体的施策：共通履修科目の数学・英語について習熟度別授業を実施。少人数の丁寧な授業)
- 10) 施設等の諸条件に対応し、校外施設の活用・利用を考慮します。
(具体的施策：環境・文化等の分野の校外学習・調査等。部活動・学校行事における校外施設の活用)

② 系列科目設置の目標と概要

人間探究系列	目標	人間の在り方、生き方への共感を持たせるとともに、人間と人間、人間と自然との関わり＜つながり＞を探求し、人間相互の尊重や、人間を取り巻く自然・環境を大切にするところを育てます。
	概要	心理、健康・スポーツ、福祉（保育、看護、介護等）、環境等に関する基礎的・基本的な学習を実施します。
	想定される進路	人間関係系、心理系、福祉系、保育系、看護・医療系、スポーツ・健康系、環境系その他への進学。関連職種への就職。
芸術表現系列	目標	芸術表現の意義や役割への理解を深めさせるとともに、自己を的確に表現する＜うまい＞ある想像力を培い、社会に発信する意欲を育てます。
	概要	美術、音楽、演劇に関する基礎的・基本的な学習を実施します。
	想定される進路	美術系、音楽系、演劇系その他への進学。関連職種その他への就職。
伝統継承系列	目標	日本の文化の意義や役割への関心を高めさせるとともに、地域をはじめとする伝統文化の＜ゆたかさ＞を主体的に継承し、地域社会の発展に寄与する態度を育てます。
	概要	伝統芸能・技能、国文学、日本史等の授業を通じ、日本の伝統文化、歴史的伝統に関する基礎的・基本的な学習を実施します。
	想定される進路	人文系、邦楽・書道等芸術系、教育系その他への進学。関連職種、その他への就職。
情報交流系列	目標	語学・情報システム等、グローバル化するビジネス社会に不可欠な情報交流の技術・役割を理解させ、主体的な国際社会との交流＜ひろがり＞の土台となる、コミュニケーション能力を育成します。
	概要	情報、ビジネス、語学、国際理解等に関する基本的・実践的な学習を実施します。
	想定される進路	情報系、経済・経営系、流通系・国際・語学系その他への進学。関連職種への就職。

★系列目標は、本校の教育目標と合致したものであるとともに、教育課程の策定に対応したものとしました。（豊かな人間関係・個性の尊重、社会地域貢献、グローバルなコミュニケーション能力・自己表現能力）

(3) アドミッション・ポリシー

東京都立若葉総合高等学校は、「自己実現や社会貢献に向けて主体的にキャリアを切り開いていく社会人」を育成します。これまで積み重ねてきた実践を基に、多様な進路実現や自主・自律・自己責任の確立を目指して行く意欲のある、次のような生徒を求めています。

- ① 本校の教育理念や教育目標について理解・共感し、入学を強く希望する生徒
- ② 総合学科の教育の特色を理解し、興味・関心を深めるとともに、幅広く学ぶ意欲のある生徒
- ③ 将来の進路について真剣に考え、更に社会へ貢献することを視野に入れて進路実現を目指す生徒
- ④ 向上心にあふれ、自ら課題に積極的に取り組むとともに、他者と協調して課題解決を図ろうとする姿勢をもつ生徒
- ⑤ 中学校での総合的な学習の時間への取り組み、特別活動、部活動等に著しい成果がある生徒

Ⅲ 中期的目標と方策

新学習指導要領への円滑な移行に向け、生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、組織的・計画的にカリキュラム・マネジメントを推進する。総合学科としての特色ある教育実践の成果と課題について検証し、より魅力ある学校として、都民の信頼と期待に応え、中学生・保護者等に選ばれる学校づくりを行う。

- (1) 教職員の学校経営参画意識の向上と協業体制の確立を図る（学校運営）
- (2) 学力スタンダードに基づく教科指導を充実し、基礎・基本を重視した学力の向上を図る（学習指導）
- (3) 都立高校生活指導指針に基づく組織的な生活指導により、基本的生活習慣を確立し、また自己指導能力の向上を図る（生活指導）
- (4) 生徒が主体的に自らのあり方・生き方について考え、希望の進路を実現できるよう、計画的・系統的なキャリア教育を行う（進路指導・キャリア教育）
- (5) 総合学科の特色を生かした生徒主体の活動を推進する（特別活動）
- (6) 心と体の健康を保持し、自他の生命を尊重する態度を育成する（安全・健康指導）
- (7) 創意工夫した広報活動と地域との連携を推進する（募集・広報活動）

Ⅳ 今年度の取組方法と方策

(1) 学校経営

- ① 新学習指導要領に基づく新カリキュラムへの円滑な移行に向けて、カリキュラム・マネジメントの体制を構築するとともに、適切な教育課程を編成する。
- ② 分掌・教科のマネジメントサイクル（PDCA）を活用し、課題解決に向けた効果的な学校運営を行う。
- ③ 企画調整会議の決定事項の円滑な周知と、拡大部会の実施による部と年次の連携を推進する。
- ④ 校内研修やOJTにより、教職員の総合学科・キャリア教育に関する理解を深める。
- ⑤ 予算編成、募集・広報活動等を通して、経営企画室の経営参画を一層推進する。
- ⑥ 授業への地域人材の活用や公開講座の実施等により、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- ⑦ 会議の運営の工夫、ファイルサーバを活用した文書や教材等の共有化、計画的な仕事の進め方等により、業務の効率化を徹底し、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。
- ⑧ 学校閉庁日を設定している主旨を踏まえ、必要な業務や指導を計画的に遂行する。また平日の1日当たりの在校時間を11時間以内、週休日である土曜日、日曜日の連続勤務について、改善を図る。

(2) 学習指導

- ① 教科主任を中心とした教科会を活性化し、組織的な授業力の向上を推進する。グランドデザインに基づき、すべての生徒に身に付けさせるミニマムな学力を明確にし、確実な定着を図る。
- ② 総合学科の特色を生かした多様な選択授業科目を設置し、カリキュラム・マネジメントの視点によ

り、意図的かつ計画的な学習指導の充実を図る。

- ③ 本校の学力スタンダードに基づく、教科指導の検証・充実、教員相互の授業研究、生徒による授業評価を活かした授業改善、学年共通したアクティブ・ラーニングの実践、言語活動・探究活動の充実、様々な発表の場の設定など、学力向上の視点と授業力に裏付けされた質の高い授業展開を図る。
- ④ きめ細かな学習ガイダンスを行い、生徒の学習意欲の喚起、学習習慣の確立、基礎学力の向上を図る。
- ⑤ 教科横断型授業を推進することにより、生徒が学習内容をより深く理解することを推進し、生徒の学習への興味を喚起することを促す。
- ⑥ 成績改善対策の補習を全講座で教科担当と担任が連携して組織的に実施し、家庭と連携して年度末まで成績不良者への支援を根気強く実施する。
- ⑦ ICT機器やスマートスクール端末を活用し、個別最適な学びを推進するとともに、組織的、効果的に活用するための環境整備を行う。
- ⑧ 国際交流事業の推進や語学力向上の取組等を通して、グローバル人材の育成を図る。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に向けて、必要に応じてオンライン授業を実施するなどして学びの補償を行う。

(3) 生活指導

- ① 生活指導規定に基づき、挨拶の励行、身だしなみ規定の遵守、授業規律を全教職員が徹底する。また、教室環境の整備と安全点検を適切に行い、学習環境の維持・向上に努める。
- ② 交通事故防止、犯罪被害防止、問題行動未然防止の指導を計画的に行い、生徒の安全と健全な態度を育む。
- ③ セーフティ教室、SNS活用講習会、薬物乱用防止教室等を通して、生徒の健全育成を図るとともに、学校事故防止に努める
- ④ ホームルーム活動や各種行事を通して、人間関係能力、判断力、コミュニケーション能力の向上を図り、振り返らせて成長を実感させる。
- ⑤ 体罰の根絶及びいじめの防止、早期発見・対応のため、教職員の意識向上を図り組織的に対応する。

(4) 進路指導・キャリア教育

- ① 4年制大学への推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト対応の進学対策を進め、補習・講習、講演会、面接指導、論文指導等について、各分掌が連携して組織的、計画的な指導の充実を図る。
- ② 生徒の個性と可能性を重視し、全教員による丁寧な個別指導を行い、生徒の進路実現を支援する相談体制を充実させる。
- ③ 生徒の進路実現を確実なものとするため、「産業社会と人間」から「マイ・プロジェクト」に至る計画的・系統的なキャリア教育を推進し、生徒の自己理解を深めるとともに、社会で必要な言語能力と発信力の向上を図る。
- ④ 進路希望状況を早期に把握し、未決定者に対する指導を充実させる。また進路指導室からの情報発信力の向上、キャリア・カウンセラーとの面談等を通して、相談体制を充実させる。
- ⑤ 質問紙調査を実施し、現在実施しているキャリア教育のプログラムを「基礎的・汎用的能力」の育成という観点から評価し、その改善を図る。
- ⑥ 実用的な資格取得を担当する教科が、組織的展開し、生徒の資質・能力を向上させる。
- ⑦ キャリア・パスポートを作成、充実させ、自分自身を客観視できるデータとして進路指導・キャリア教育に活用する。

(5) 特別活動

- ① 学校行事の意義付けの明確化と質的向上を図り、生徒に協調性や達成感を持たせるとともに、自尊意識を高める。
- ② 部活動の参加率、活動内容の向上に努め、生徒の自主・自律の精神及びスモールステップでやり抜

く力を育成する。活動については、部活動ガイドラインを遵守し、バランスの取れた生活と、生徒の成長の観点から、休養日を週2回以上設定するとともに、諸活動を通じて望ましい人間生活の伸長を目指す。

- ③ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、東京都教育委員会からの指示を遵守し、生徒・教職員の健康・安全を確実に確保した上で、学校行事、部活動等を実施する。

(6) 安全・健康指導

- ① セーフティ教室や避難訓練等を通じて、健全育成と実践的な防災意識の涵養を図るとともに、学校事故防止に努める。
- ② カウンセリングマインドに基づく保健相談機能の充実を図る。また、始業式等の講話や外部講師による講演会を活用し、生徒に自他の生命を尊重する意識を高めさせる。
- ③ 発達障害等特別な支援が必要な生徒に対する組織的・計画的な対応を推進する。
- ④ 生徒の発達段階に応じて体力と運動能力を向上させるため、体育授業時の基礎体力づくりを継続して実施し、運動の重要性の理解と心身共に健康な人間の育成を目指す。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、生徒及び教職員の検温等の健康観察を徹底し、感染拡大防止に向けた機運を醸成する。また学校内外を問わず、マスク着用及び昼食時の飛沫感染防止を徹底する。

(7) 募集・広報活動

- ① 新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、安全に学校説明会等を実施する。説明内容を You Tube で公開し、情報の発信方法を拡大する。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、安全に中学生向けの体験授業や部活動の体験入部等を積極的に実施し、中学生への認知度を向上させる。
- ③ 稲城市の中学校及びPTAとの連携を図り、本校を会場とする都立高校合同説明会を実施するなど、広報・募集活動を計画的に実施する。
- ④ 中学校への出前授業や塾訪問を積極的・計画的に実施し、中学生やその保護者に対して、本校の理解・総合学科高校の理解の深化を図る。
- ⑤ ホームページの更新を組織的に実施し、情報発信体制の充実を図る。
- ⑥ 本校の紹介動画を組織的に作成し、本校ホームページや You Tube 等で公開し、中学生やその保護者に対して、本校の理解の深化を図る。

V 重点目標と数値目標

重点目標 [目標値]	主な方策
進路実現への支援 【進学浪人を除く進路決定率100%】 【生徒の進路指導満足度80%以上】	・「産業社会と人間」「マイ・プロジェクト」の系統的なカリキュラムの実施 ・個別進学指導の充実（補習・講習の実施） ・全教員による進路相談・指導の実施 ・総合型・推薦型選抜対策の指導の充実
学力向上の取組の推進 【生徒の授業満足度80%以上】 【生徒の授業への取組み～自己評価(良好)80%以上】	・アクティブ・ラーニング型授業の推進 ・学習ガイダンスの充実 ・補習・講習の充実 ・各種検定・資格等の積極的な取得促進
TOKYOスマート・スクール・プロジェクトの推進 【スマートスクール端末への取り組みに対する生徒・保護者の満足度70%以上】	・ラーニングコモンズ等の環境整備の推進 ・各種校内研修の充実 ・使用する授業プログラムの情報共有

規範意識の醸成 【いじめ案件 0件】 【年間遅刻回数延べ2100回以下】	・全教員による積極的な生徒への声掛け ・拡大生活指導部会の実施による統一した指導の推進 ・SNS利用モラル向上に資する講演会の実施 ・生徒情報共有化の一層の推進
広報活動の充実と入試倍率の向上 【一般入試倍率1.2倍以上】 【説明会参加者延べ2000名以上】	・定期的なホームページの更新 ・中学校訪問、出張授業、塾訪問の実施 ・体験授業・部活動体験の実施 ・学校説明会の改善・充実